

リアルな経験を語る 女性起業家トークセッション

☎ 創業センター ☎ 027-289-9666

女性ならではの視点や立場で活躍する地元起業家のトークセッションを開催。経験に基づく内容から成功を目指すヒントを学びます。男性も参加できます。

📅 8月19日(水) 19時～20時30分
📍 創業センター
👥 起業に興味があるか起業後間もない人、先着30人
💰 ¥500円



仕事に生かせる知識を学ぶ めぶくビジネススクールを開講

☎ めぶくビジネススクール事務局 ☎ 027-289-2160

産学官が連携した協議会「めぶく。プラットフォーム前橋」主催のビジネススクールを開講します。企業のマネジメント層を対象に、リーダーにとって必要な学びを提供。30代後半から50代の受講生が多く、同世代と意見交換できます。

🕒・📍 下表のとおり



ホームページ



申し込みフォーム

👥 県内企業に従事し仕事に生かせる知識を学びたい人、15人(選考)
💰 ¥5万5,000円
📅 9月15日(水)までに二次元コードの申し込みフォームで

めぶくビジネススクール		
テーマ	日時	場所
【第1クール】イノベーションを生み出す組織をめざして	10月17日(土)9時～12時30分	前橋商工会議所(日吉町一丁目)
	10月31日(土)10時～14時20分	共愛学園前橋国際大(小屋原町)
	11月14日(土)9時～12時30分	群馬大(荒牧町四丁目)
【第2クール】大規模経営データの利活用法	11月28日(土)9時～12時30分	前橋商工会議所(日吉町一丁目)
	12月5日(土)9時～12時30分	前橋 comm(千代田町二丁目)
【第3クール】ビジョンと経営戦略／マーケティングの活用＋特別講義 AIは仕事をどう変えるのか？	来年1月9日(土)9時～15時	前橋 comm(千代田町二丁目)
【第4クール】特別講義「医療」「教育」の視点から	来年1月23日(土)9時～12時30分	前橋 comm(千代田町二丁目)
	来年2月6日(土)9時～12時50分	前橋工科大

専門家に 中小企業の事業承継を相談

☎ 県事業承継・引継ぎ支援センター
☎ 027-265-5040

県事業承継・引継ぎ支援センターは事業承継の公的な支援機関。親族間や従業員、第三者など、中小企業の事業承継について無料で相談できます。専門家が秘密厳守で相談に応じます。



追加募集を実施 設備投資支援補助金

☎ 産業政策課
☎ 027-898-6983

市内事業者の生産性向上を支援するため「前橋市設備投資支援補助金(生産性向上設備導入枠)」の追加募集を実施。生産性向上に資する設備の導入・更新に係る経費の一部を補助します。申請多数の場合は審査により採択します。

👥 市内で事業を営む中小企業者など
📅 8月17日(月)～28日(金)に産業政策課へ

アートと歩む、まちを歩こう

前橋国際芸術祭 2026

☎ 前橋国際芸術祭実行委員会事務局
✉ info@machinaka.agency



第一回の開催テーマは「めぶく。」

平成28年に策定したまちづくりビジョン「めぶく。」から10年。世界から注目を集める建築群が点在する本市のまちなかを舞台に、アートと建築を歩いて巡りながら、この街ならではの魅力や新たな風景に出合う前橋国際芸術祭2026を開催します。

第一回のテーマ「めぶく。」には「良いものが育つまち」という意味が込められています。参加アーティストと共に、人々が未知のものに触れ、心を動かすアート体験を届け、街のあちこちで未来を彩る「めぶく。」を起こしていきます。



白井屋ホテルの建築とアートをめぐる〈SHIROIYA the TOUR〉
／Photo by Shinya Kigure

生まれ変わる都市のエネルギーを享受する

アートの感性を取り入れた都市空間の再整備が進み、かつてシャッター通りだったアーケード商店街にも、個性豊かなローカルビジネスが次々と誕生しています。芸術祭では、変化を続ける街の魅力とエネルギーを体感できます。



アートと生活が融合する〈まえばしギャラリー〉
設計・平田晃久さん

この土地と街と人の物語を世界へ

赤城山に抱かれた暮らしの風景や近代製糸、前橋空襲にまつわる先人たちの物語を掘り起こし、アートを通して世界へ発信します。足元に埋もれた歴史や土地とのつながりを結び直すりサーチ型のプロジェクトにも取り組みます。



アーツ前橋での山縣良和展「ここにいてもいい」
展示風景／2024

📅 9月19日(土)～12月20日(日)(水曜休館。9月23日(水)は開場し、24日(木)は休館します)

📍 アーツ前橋、まえばしギャラリー、白井屋ホテル、前橋文学館、前橋シネマハウス、旧近藤時計店、ハウゼビル、前橋中央通り商店街、オリオン通り商店街、裏ノ間、寺町芸術センター、ya-gins、Bentena SHOP、Maebashi Works、map、本屋 水紋、Noie、東和銀行本店併設「憩いの広場」、広瀬川河畔緑地、旧安田銀行担保倉庫など



2019年の「前橋めぶくフェス」に登場した《ガリバーテーブル》

多彩な表現があぶり出す

前橋の日常

日本近代詩の父・萩原朔太郎の生誕地である本市。芸術祭では現代アートにとどまらず、詩や演劇、音楽、食など多彩な表現を通して、この街の日常に宿る記憶や物語を呼び起こします。



吉開菜央《風にのるはなし》2018／デジタル／9分

詳しくは本紙9月号で
お知らせします。